



ホットストリップ設備のバックアップロールのベアリングハウスの34箇所の損傷が修復されました。上の設計図を見ると外側軸受け内径面の回転により軸受け本体ダメージを受けた事が分かります。従来の修理方法では、溶接、熱処理、サイズ調整という工程を取っていました。しかし、MM-メタルSS-スチールセラミックと硬化剤(黄)なら、より安くより早い革新的な修理が可能です。